

● 札幌市防災アプリ（愛称：そなえ）の配信について

防災情報や災害時に役立つ情報を配信するスマートフォンアプリ「札幌市防災アプリ」（愛称：そなえ）を、9月28日から配信します。

このアプリは、避難勧告等の発令や避難場所の設置、気象警報などの災害情報をプッシュ通知でお知らせするほか、衛星測位システム（GPS）により取得した位置情報を基に、現在地周辺の避難場所を地図に表示する機能などを備えており、アプリ利用者は、災害時に役立つ情報をより早く・簡単に入手することができます。また、メニュー等を多言語表示し、外国人の方にも対応しています。

札幌市では、多くの市民や観光客の方に活用いただきたいと考えています。

1 スマートフォンアプリについて

(1) 名称：札幌市防災アプリ

(2) 愛称：そなえ

(日ごろから、災害に「そなえ」しておくことが重要であり、災害発生時の情報収集に活用していただくことはもちろん、平時から災害に備えて避難場所や地域の危険箇所を確認してほしいという考えから命名。)

(3) 配信開始日：Android版、iOS版ともに9月28日（木）

(4) 想定利用者：市民、観光客などの札幌市滞在者（外国人を含む）

(5) 表示言語：メニューや各機能の表示を端末で設定されている言語に応じて、日本語・英語・中国語・韓国語で自動表示。ただし、札幌市が緊急速報メール（エリアメール）で送信する避難情報（避難勧告等）は、日本語か英語で表示。対応言語以外の言語が設定されている場合は、英語で表示する。

(6) 開発・初年度保守費用：5,902,200円（税込）

(7) 主な機能：

機 能	内 容
避難・災害情報表示	札幌市が発令する避難情報（避難勧告等）のほか、避難場所の設置情報や、気象庁が発表する気象注警報、土砂災害警戒情報、地震情報などをプッシュ通知で配信する。
ハザードマップ・避難場所表示	地区別の各種ハザードマップ（災害危険箇所図）を閲覧できるほか、GPSにより取得した位置情報を基に、現在地周辺の災害の種類（洪水・土砂・地震・大規模火災）に応じた避難場所の位置を地図に表示。また、AR（拡張現実）技術により、スマートフォンをかざすだけで、現在地からの避難場所の方向と距離を表示する（エアタグ）。
SOS 発信・安否情報	事前登録した連絡先（最大5件）に、自分の居場所と緊急事態であることを簡単な操作でメール送信できる。また、インターネット通信により、被災した家族や友人の状況を検索したり、情報を掲示することができる（「Google パーソンファインダー（安否情報）」を利用しているが、「J-anpi」にも情報が提供される）。
AR 危険度体験	AR 技術により、スマートフォンをかざすだけで、現在地の災害別の危険度をアニメーションで表示。

2 周知について

(1) 9月下旬から、札幌市防災アプリを紹介する動画を「秋元市長のサッポロスマイルニュース※」に配信する。

※市内で開催されるイベント情報や、生活に役立つ情報などをわかりやすくお届けする動画。札幌市公式ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/city/mayor/smilenews/>) のほか、さっぽろ地下街ポールタウン大型ビジョン「HILOSHI(ヒロシ)」や、チ・カ・ホの大型ビジョン等で放映している。

(2) ダウンロード用のQRコードを印刷した案内チラシ（日本語版・英語版）を国際プラザ、各消防署、札幌市民防災センター等で配布。

(3) 広報さっぽろやスマートフォンアプリ「i さっぽろ」、地上デジタルテレビ・データ放送、コミュニティFM等でお知らせする。



▲アプリトップ画面イメージ

問い合わせ先

危機管理対策室危機管理対策部危機管理対策課 菅原・麻生
電話：211-3062、ファクス：218-5115